



松崎友紀氏(即興舞踏家)と飯塚友浩氏(舞踏家)によるパフォーマンス



## 土地の持つ力に突き動かされ、時空を超えて醸された4日間

2015年に能楽堂で行った『天のめぐみ 地の祈り』の直後から、次はどこでどんな形でと市内のあちこちに足を運び、思いを伝えながら絞り込んでいった。その結果、夏場の4日間、4つの会場での4連続公演という未知なる世界への挑戦となった。

新潟市の即興舞踏家 松崎友紀氏主演の映画『OKUAGA』に衝撃を受け、この映像をモチーフにパフォーマンスを創りたいと、手塚真監督に直談判し承諾を得る。映画のパフォーマンスをどう繋げていくかが最大のポイント。関東在住の伊澤陽一氏(スティールパン奏者)と飯塚友浩氏(舞踏家)に、まずは映像を観てもらったため松崎氏が上京。キャスト3人で観たことでそれぞれが刺激を受け、とにかく現地の空気に触れて感じたことを出し合い創っていこうと、引き寄せられるように阿賀へ!

上映～パフォーマンス～トークという流れは変わらず、各会場の持つ力と集う人の雰囲気と独自の姿が生まれ、まさに「醸されている」ことを実感できた極上のひとときとなった。「今この時しか生まれない美しい音と動きが五感で楽しめた」「映画とパフォーマンスの世界がそのままつながっているようで、とても神秘的だった」「スティールパンの音楽と踊りが本当に美しかった。映像も素敵で、奥阿賀に出かけたい」「奥阿賀の魅力が存分に伝わってきて訪れたいと思った。知られていない地域の魅力を引き出すという企画力は素晴らしい、ぜひこの企画を続けてほしい」「県外から来たが、新潟の方々のあたたかい対応に驚き、大いに助けられた。必ずまた来る！」などお客様から声を頂いた。「醸す」がテーマの一期一会のイベントであったが、新潟の魅力を発信できたと思う。

- 8月31日(金) 公演 (今代司酒造) ●9月1日(土) 公演 (銀花naya)
- 9月2日(日) 公演 (秋葉硝子) ●9月3日(月) 公演 (ギャラリー蔵織)